

「フロン類充填量及び回収量等に関する報告書」に係る主な問合せ

【 環境省 「フロン排出抑制法のQ & A（第3版）」 より抜粋 】

No.	質 問	回 答
1	充填回収業者が、年度途中でフロン類を新規調達し、充填した場合、様式第3のどの欄に記入するのか。	様式第3の①、⑨、⑰「充填した量」に記入して下さい。
2	充填回収業者が、年度途中でフロン類を新規調達し、保管した場合、様式第3のどの欄に記入するのか。	新規調達したフロン類を充填せず、保管している場合には様式3には記入しません。
3	充填回収業者が、同一県内において、回収したフロン類を法第50条第1項の規定により自ら再生して充填した場合、様式第3のどの欄に記入するのか。	様式第3の①、⑨、⑰「充填した量」に記入するとともに、⑥、⑭、㉔「法第50条第1項の規定により自ら再生し、充填したフロン類の量」に記入して下さい。
4	充填回収業者がフロン類を回収し、法第50条のただし書きに基づく再生を行わず、他の機器に充填する場合、様式第3のどの欄に記入するのか。	左記の行為は認められていません。
5	前年度に回収したフロン類を当年度充填した場合、様式第3のどの欄に記入するのか。	様式第3の③、⑪、⑲「年度当初に保管していた量」に記入するとともに、⑥、⑭、㉔「法第50条第1項の規定により自ら再生し、充填したフロン類の量」に記入して下さい。

【広島県】

No.	質 問	回 答										
1	充填の「設置」と「設置以外」の違いは？	「設置」とは、機器を新たに設置した時に充填したフロン類で、「設置以外」とは、使用中の機器を修理・整備した時に充填したフロン類のことです。										
2	回収の「整備」と「廃棄」の違いは？	「整備」は、機器を修理・整備するために回収したフロン類のことで、「廃棄」は機器を廃棄するために回収したフロン類のことです。										
3	整備等で一度回収したフロン類を同一機器に再充填した場合の集計方法は？ 例 フロン類5kgを回収し、整備後 5kgのフロン類を再度充填	整備等でフロン類を回収した後、再度同一機器に充填した場合は、台数は集計しますが、充填量及び回収量は集計しません。 報告 【充填】「設置以外」の欄に 1台 0kg 【回収】「整備」の欄に 1台 0kg										
4	昨年度、充填・回収がなかった。提出しなくてよいか。	実績がゼロでも報告が必要です。 また、記載漏れと区別するために、必ずゼロ（0）を記入してください。										
5	回収したものではなく、故障した時の応急措置のため保管しているフロン類は、どのように報告したらよいか。	この報告書は回収したフロン類の処理状況について報告するものです。 回収したフロン類でなければ、報告は不要です。										
6	事業所が県内に何か所もある。それぞれの事務所の報告が必要か。	事業所ごとの報告ではないため、取りまとめて提出してください。										
7	小数第何位までを記入したらよいか。	小数第3位を四捨五入して、小数第2位まで記入してください。										
8	報告書に印字してある代表者又は住所が違う。二重線で訂正（印）すればよいか。	報告書は訂正して提出してください。 また、 <u>充填回収業登録での「変更届」の提出が別途必要</u> です（既に変更届を提出されている場合は不要です）。										
9	郵送で提出する場合、提出部数が2部※となっているが、用紙は1枚しか送られていない。 ※広島県内に事業所がある事業者のみ、提出部数は2部です。	コピーして2部提出してください。										
10	「法第 41 条の規定によりフロン類が充填されていないことの確認を行った第一種特定製品の台数」とはなにを記入すればよいか。	第一種特定製品廃棄等実施者は、廃棄する予定の第一種特定製品にフロン類が残存しておらず、フロン類を引き渡すことができない場合、第一種フロン類充填回収業者により、フロン類が充填されていないことの確認を受けなければなりません。この確認を行った台数を記入してください（この「確認」とは不法投棄や災害時等の例外的な事例を想定しています）。										
11	廃棄等実施者からフロン類の回収依頼を受けた第一種特定製品に含まれていたフロン類を漏れなく回収し、フロン類がなくなったことを確認した。この台数を「法第 41 条の規定によりフロン類が充填されていないことの確認を行った第一種特定製品の台数」に記入すればよいか。	ここでいう「(法第 41 条で規定の) 確認」とは異なりますので、No. 10 の「回答」を参考のうえで、御記入ください。										
12	第一種フロン類再生業者とはなにか。	国の許可を受けフロン類の再生を行う事業者です。 再生業者に引き渡した場合、再生業者から再生証明書が交付されます。 フロン報告書に記載する場合は、「第一種フロン類再生業者に引き渡した量」に記載します。 中国地方には次の 4 事業者があります。 <table><tr><td>メキシケムジャパン株式会社</td><td>広島県三原市</td></tr><tr><td>有限会社モスト</td><td>広島県広島市</td></tr><tr><td>アオホンケミカルジャパン株式会社</td><td>岡山県津山市</td></tr><tr><td>有限会社東山冷機</td><td>岡山県岡山市</td></tr></table>	メキシケムジャパン株式会社	広島県三原市	有限会社モスト	広島県広島市	アオホンケミカルジャパン株式会社	岡山県津山市	有限会社東山冷機	岡山県岡山市		
メキシケムジャパン株式会社	広島県三原市											
有限会社モスト	広島県広島市											
アオホンケミカルジャパン株式会社	岡山県津山市											
有限会社東山冷機	岡山県岡山市											
13	第一種フロン類破壊業者とはなにか。	国の許可を受けフロン類の破壊を行う事業者です。 破壊業者にフロンを引き渡した場合、破壊業者から破壊証明書が交付されます。 フロン報告書に記載する場合は、「フロン類破壊業者に引き渡した量」に記載します。 中国地方には次の 5 業者があります。 <table><tr><td>メキシケムジャパン株式会社</td><td>広島県三原市</td></tr><tr><td>三光株式会社</td><td>鳥取県境港市</td></tr><tr><td>エコシステム山陽株式会社</td><td>岡山県美咲町</td></tr><tr><td>共英製鋼株式会社</td><td>山口県山陽小野田市</td></tr><tr><td>下関三井化学株式会社</td><td>山口県下関市</td></tr></table>	メキシケムジャパン株式会社	広島県三原市	三光株式会社	鳥取県境港市	エコシステム山陽株式会社	岡山県美咲町	共英製鋼株式会社	山口県山陽小野田市	下関三井化学株式会社	山口県下関市
メキシケムジャパン株式会社	広島県三原市											
三光株式会社	鳥取県境港市											
エコシステム山陽株式会社	岡山県美咲町											
共英製鋼株式会社	山口県山陽小野田市											
下関三井化学株式会社	山口県下関市											

